

## 11日 水曜

### マタイ

12:38 そのとき、律法学者、パリサイ人のうちの何人かがイエスに「先生、あなたからしるしを見せていただきたい」と言った。

12:39 しかし、イエスは答えられた。「悪い、姦淫の時代はしるしを求めますが、しるしは与えられません。ただし預言者ヨナのしるしは別です。

12:40 ヨナが三日三晩、大魚の腹の中にいたように、人の子も三日三晩、地の中にいるからです。

12:41 ニネベの人々が、さばきのときにこの時代の人々とともに立って、この時代の人々を罪ありとします。ニネベの人々はヨナの説教で悔い改めたからです。しかし見なさい。ここにヨナにまさるものがあります。

12:42 南の女王が、さばきのときにこの時代の人々とともに立って、この時代の人々を罪ありとします。彼女はソロモンの知恵を聞くために地の果てから来たからです。しかし見なさい。ここにソロモンにまさるものがあります。

12:43 汚れた霊は人から出て行くと、水のない地をさまよって休み場を探します。でも見つからず、

12:44 『出て来た自分の家に帰ろう』と言います。帰って見ると、家は空いていて、掃除されてきちんと片付いています。

12:45 そこで出かけて行って、自分よりも悪い、七つのほかの霊を連れて来て、入り込んでそこに住みつきます。そうすると、その人の最後の状態は初めよりも悪くなるのです。この悪い時代にも、そのようなことが起こります。」



12:46 イエスがまだ群衆に話しておられるとき、見よ、イエスの母と兄弟たちがイエスに話をしようとして、外に立っていた。

12:47 ある人がイエスに「ご覧ください。母上と兄弟方が、お話ししようとして外に立っておられます」と言った。

12:48 イエスはそう言っている人に答えて、「わたしの母とはだれでしょうか。わたしの兄弟たちとはだれでしょうか」と言われた。

12:49 それから、イエスは弟子たちの方に手を伸ばして言われた。「見なさい。わたしの母、わたしの兄弟たちです。

12:50 だれでも天におられるわたしの父のみこころを行うなら、その人こそわたしの兄弟、姉妹、母なのです。」

多くの人々が、信じることの根拠として「しるし」、すなわち不思議な出来事を期待します。それで惑わされる人が多いのです。偽の宗教は、人に取り入ろうとするため、欲望を満たすような「しるし」を強調し、それを求める人は自分のために宗教を渡り歩くようになります。これが「悪い、姦淫の時代」ということです。

自分の欲求のための信仰ではなく、主の御心が第一であり、そこに本当の幸いがあるということを中心として、生きましょう。

ヨナも南の女王も、出来事としては特筆すべき「しるし」となるようなことでしたが、イエス様こそが「まさったもの」です。イエス様を愛して、イエス様の出来事と心に感じるができるかどうか。これが信仰のバロメーターを言ってもいいでしょう。

イエス様のことが分るような霊的感性は聖霊によって与えられます。単に心を「掃除してきちんと」片付けるだけでなく、聖霊に満たされて、聖霊に従いましょう。

そのように「みこころを行う者」を、主イエス

は「今日、姉妹、また母」と呼んでくださいます。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

